



古川正之 写真集 MASAYUKI FURUKAWA 「DIARY」

「DIARY」

2022年9月下旬発売予定

アートディレクション 柿崎裕生

A4変形(210×255mm)ハードカバー(クロス貼り)

128ページ / テキスト 英語、日本語

定価 4,800円(税別)

ISBN 978-4-9912631-0-1 C0072



■写真集「DIARY」

フォトグラファー古川正之が10年以上にわたり、ライフワークとして撮り続けているランドスケープやポートレイトをまとめた作品集。その膨大な写真から122点の写真がセレクトされています。

「ロンドンに住んでいた2010年頃から日記を付けるように自分の周りを撮り始め、年を重ねるうちにその撮影対象は徐々に広がっていった。当初根底にあったのは目新しい特別なものを見つけるという気持ちではなく、誰もが持っているその時美しいと感じたものを写真に残したいというシンプルな気持ちだった。長く続けていくと段々とその気持ちが変わっていき自分と同じように変わりゆくものを目指して撮るようになっていった。それはいつの間にか自分の生活に欠かせないものになった。」

日々の古川の目線や気持ちの移り変わりを表した作品「DIARY」をこの度、作品集として出版することになりました。

■写真集のアートディレクションはHAKUHODO DESIGNのアートディレクター柿崎裕生が担当

「写真はそもそも、光を感光させることでイメージを写し出すものですが、古川さんの写真を改めて見たときに、その根源的な魅力を再認識しました。時間、場所、被写体がすべてバラバラではあっても、どこかでシームレスにつながっている目線がある。それは単純にきれいな光を求めてシャッターを切る以上に根源的な、世の中を見つめる「アティチュード」そのものを感じたのです。表紙は、掲載するすべての写真を見たときに感じた光の流れをビジュアル化しました。中面に関しては、タイトルになっている「DIARY」をそのまま表現すると、日づけに沿って写真を並べることになります。ですが今回は並びをシャッフルし、表紙の鮮烈なイエローと同期するように黄色系の写真を集めてスタートさせ、だんだんと色味が変化していくように「色の流れ」を編集しました。シームレスなグラデーションを中面の写真の並びでも構成していくことで、時間や場所の概念はねじれていても、逆にそれによって古川さんの目線を浮き彫りにする狙いがあります。」(柿崎裕生)

2022年現在の東京のビル群や、10年前にフランスの港町サン・マロで夕方に撮影された海岸、ロンドンやサンフランシスコ、ヘルシンキのローカルスケーターや東京に住むモデルのポートレイトなど、場所や時間を超えて一つの目線からつながる広がり意識した写真集となっている古川作品を是非ご覧ください。

古川正之 MASAYUKI FURUKAWA


写真家。神奈川県生まれ。ロンドンから帰国後、2012年よりフォトグラファーとしてのキャリアをスタートさせる。ポートレイトを中心に雑誌、広告、CMなどの撮影を手がけ、ライフワークとしての作品「DIARY」シリーズを日々更新している。主な仕事として、adidas, google, NIKE, SONY, UNIQLO等。
<https://www.masayukifurukawa.com>

HILLDROP PRESS (ヒルドロッププレス)

2022年5月に東京で設立されたブックレーベル。今回が第一弾となる古川正之写真集「DIARY」をリリース。
<https://www.hilldroppress.com>

ご注文はツバメ出版流通まで FAX 03-3721-1922

MAIL: info@tsubamebook.com
TEL: 03-6715-6121 <http://tsubamebook.com>

貴店名(番線印)	HILLDROP PRESS 返品条件付注文扱い 返品了解 ツバメ出版流通:川人		 HILLDROP PRESS https://www.hilldroppress.com info@hilldroppress.com T 03-3323-2922
	注文数	古川正之 写真集「DIARY」 ISBN 978-4-9912631-0-1 C0072 定価 4,800円(税別)	
ご担当 / 様			